-目指す児童像-よく考える子 仲よくする子 心身ともにたくましい子

令和5年学力調査の結果について

4月に実施された全国学力学習状況調査と石川県基礎学力調査の結果について、本校の様子をお知らせします。

①全国学力学習状況調查(6年国語·算数)

【平均正答率】

国語・算数共に県と全国の平均を上回っています。

	国語	算数
本校平均正答率	75%	76%
石川県 //	72%	67%
全国 //	67.2%	62.5%

【よかったところ】

- ・国語では特に「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域の正答率が県よりも高い。
- ・算数では、特に「図形」や「変化と関係」の領域での正答率が県より高い。

【課題と対策】

- ・国語では、情報をどのように説明しているかを判断したり、書かれている内容について理解する ことなどに課題がある。
- ※語句と語句の関係を図示し、考えを明確にしたり思考をまとめたりする力を伸ばす。また、資料 を読む際に分かることを囲んだり線でつないだりする活動を取り入れていきます。
- ・算数では、筆算の意味の説明や表に表された数字の内容を読み取ることなどに課題がある。 ※基礎的な内容の定着を図ると共に、様子や状況をイメージして問題を読む力をつけていきます。

②石川県基礎学力調査(6年社会・理科・英語、4年国語・算数)

【平均正答率】4年生・6年生全ての教科で県の平均を上回っています。

	6年社会	6年理科	6年英語	4年国語	4年算数
本校平均正答率	60.5%	74.7%	90.4%	60.3%	69.6%
石川県 //	57.0%	60.2%	87.9%	56.9%	66.0%

【よかったところ】

〇4年生



- ▶国語は、特に「知識・技能」と「話すこと・聞くこと」の領域での正答率が県より高い。
- …ローマ字や漢字の読み、辞書の使い方、話し手のや聞き手の意図をとらえることが得意。
- ・算数は、特に「数と計算」「データの活用」の領域の正答率が県より高い。
 - …データを表に表すことやかけ算の筆算、分数の意味や表し方、□を使った式などが得意。



〇6年生



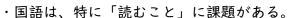
社会は、特に「思考・判断・表現」に関わる設問の正答率が県より高い。



- …石川県全体の地形の様子の理解、飲料水の有効利用について選択・判断するなどが得意。
- ・理科は、どの領域も県の平均正答率を大きく上回っている。24問中6問が12人全員正答。
- ・英語は、特に「書くこと」の領域の正答率が県より高い。また「聞くこと」の正答率も高い。

【課題と対策】

〇4年生





- …重要な語や文を選び出したり、複数の資料を読んで理解し、考えや感想をもつことなど
- ※説明の元となる文を見つけたり抜き出したりする活動、複数の資料から読み取る問題などに慣れ させていきます。また、単元テストやチャレンジテストで「見直しやたしかめをする」ことを習 慣化させていきます。
- ・算数は、長方形の定義や円の直径・半径など、習ったことを忘れてしまっている傾向がある。
- ※問題文や図、表などに印をつけたり書き込んだりする。授業の中で先に習ったことをふりかえり、 繰り返し学習させて定着を図っていきます。

〇6年生

- ・社会は、複数の資料を読み取り関連づけて考えることや重要な語句の定着が不十分。
- ※グラフや表の増減からその意味するところを考えたり、考える視点を与えて複数の資料を読み取る等の経験を積ませます。
- ・理科は、正しい理科用語で説明することや、課題に対する正しい表現かを確認する力に課題。
- ※キュビナなどで下学年の内容の復習を行う。曖昧な表現でよしとせず厳しい目で鍛えていきます。
- ※英語は、気になるような課題はありません。活動をたくさん取り入れ、楽しみながら単語や定型 文を覚えるようにします。リスニングの問題が多いことから、聞くことの活動を特に多く行って いきます。

③質問紙調査(6年生:全国·県 4年生:県)

肯定的評価の高かった項目

【4年生】

(16人中)

	質問項目	そう	だいたいそう	%	県平均
I-5	理科が好き	11人	5人	100%	88.6%
2-4	少ない人数やグループでの勉強が好き	9人	7人	100%	86.8%
2-5	ICTを使う勉強が好き	12人	3人	93.8%	89.4%
3-5	友達の考えや意見を最後まで聞く	9人	6人	93.8%	93.9%
3-9	先生は自分のいいところを分かってくれる	14人	1人	93.8%	86.0%
7-6	難しいことでも失敗を恐れず挑戦している	7人	7人	87.6%	81.4%

【6年生】

(12人中)

	質問項目	そう	だいたいそう	%	県平均
-	学校が好き	6人	5人	91.7%	84.3%
2-4	少ない人数やグループでの学習が好き	9人	2人	91.7%	86.9%
2-7	地域の人や専門家から教えてもらう	4人	6人	83.4%	68.3%
全28	日本や自分の地域のことを外国の人に知ってほしい	7人	4人	83.3%	78.0%
全30	ICTを使うのは勉強に役立つ	7人	5人	100%	95.8%
全53	算数の授業の内容はよく分かる	7人	4人	91.7%	85.4%

肯定的評価の低かった項目

【4年生】

(16人中)

	質問項目	そう	だいたいそう	%	県平均
1-2	国語が好き	4人	2人	37.5%	71.9%
2-1	自分の考えを発表したり話し合ったりするのが好き	4人	4人	50%	66.5%
3-13	新聞・テレビのニュースなどに関心がある	4人	4人	50%	64.4%
7-8	将来の夢や希望を持っている	11人	0人	68.8%	84.7%

【6年生】

(12人中)

	質問項目	そう	だいたいそう	%	県平均
全2	毎日同じくらいの時間にねている	4人	4人	66.7%	83.4%
全3	毎日同じくらいの時間に起きている	4人	4人	66.7%	91.6%
全10	読書は好きか	4人	4人	66.7%	75.2%
全23	新聞を読んでいるか	1人	0人	8.3%	14.6%

質問紙調査は、非常にたくさんの質問項目があります。学習に関わるもの、 生活や健康面に関わるもの、友人関係や考え方・感じ方に関わるものなどが あります。家庭での学習時間やゲームの時間などの調査も含まれます。その 数は、全国調査63項目、県の調査は4年生57項目、6年生36項目です。 この場では、大屋小児童の特徴的な部分だけご紹介しました。



しかし、4年生、6年生とも学年の人数が少ないので、割合(%)によって県の平均と単純に比較することは適切な見方ではありません。(I人2人増えたり減ったりするだけで県を上回ったり下回ったりするため。)

学校・保護者が「こうあってほしいな」と望む姿に対して、「そう」と肯定評価でこたえてくれる児童が I 人でも増えていってほしいと思っています。この結果を参考に、今後もよりいっそう『わかる授業』を追究します。また、ご家庭と協力し合って、子どもたちの気持ちを理解し、成長を支えていける学校づくりに努力していきます。これからもご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。